

（東吉野村「はじまりの村 プロジェクト」）

東吉野村「はじまりの村 プロジェクト」（代表：明後克典氏）は、平成13年12月に発足し、主に“高見山霧氷まつり”、“清流響園コンサート”のイベントを開催している。同プロジェクトは、平成11年、12年に「吉野魅惑のフェスティバル」が開催され、東吉野村にも多くのお客様が訪れたことを契機に村の活性化を図る団体を作ろうとしたことがはじまり。

「はじまりの村」のネーミングは、神武天皇が九州から熊野を経由し、大和へ攻めてくる途中で東吉野村の「丹生川上神社」に立ち寄り、戦勝祈願をしたお陰で大和の国を平定でき、日本の歴史はこの地からはじまったという由来から名づけられた。

■ “高見山霧氷まつり”

毎年2月の建国記念の日に近い土日に開催されており、いのしし汁、つけもの、山の幸など村の人々が普段食べている料理を登山客に振る舞っている。

■ “清流響園コンサート”

古い日本庭園と茶室を備えた旧家（桶谷邸）を舞台にしたコンサートで、以下を含めて計6回開催された。なお、今年の開催は未定。

- ・2003年8月「東吉野宵待ひびきコンサート」（フルート：トーマ・プレヴォ、ヴァイオリン：破魔澄子、琴：金久千賀子）
- ・2004年4月「さくらの風コンサート」（ソプラノ：梅谷裕子、ピアノ：立津宏嗣）
- ・2004年6月「東吉野宵待ひびきコンサート」
蛍が飛び交うなかで、マリンバの演奏が行われた。（マリンバ：松本真理子）
- ・2004年10月「松本梅征三味線紀行」（津軽三味線・尺八・民謡）

最初は、代表の明後氏が大阪、兵庫、京都、奈良の知人を誘って始まったが、その後はリピーター並びに口コミで毎回約180人が集まり、盛況となっていて続いている。

2004年10月のコンサートの前には、川の流れ

の聞こえる座敷で宴を催し、知らない人同士の交流が行われた。地元で取れる食材（黒豆、山菜、栗など）を使い、青い朴葉でくるんだおこわや、里芋、榛原牛、宇陀ごぼう、シメジなどを大鍋で煮た「故郷いも煮鍋」などが、明後氏の夫人の手料理で振る舞われた。

東吉野村は、森林に囲まれて空気が美味しく、水は伏流水でそのままで飲める素晴らしい環境が維持されている。多くの都会の人々にこの環境にふれてもらうことが、このプロジェクトの使命と思われる。（上田）



「さくらの風コンサート」



桶谷邸の庭園

（写真提供：「はじまりの村 プロジェクト」）

これからの主な催し

〔主な行事〕

●8月23日・24日（水・木）

元興寺 地藏会万燈供養

本堂内の木造地藏菩薩立像や境内石造地藏を供養するもので、堂内には書画の行灯が献納される。境内浮図田では灯明皿による万燈供養がされる。

JR 奈良駅から徒歩20分 近鉄奈良駅から徒歩10分 元興寺 TEL：0742-23-1377

●9月10日（日）

奈良県新公会堂 芝能

昭和22年奈良県公会堂の庭園の芝で行われたのが始まり。その後、一時中止されたが、昭和53年春日野で再開された。現在は奈良県新公会堂の庭園で行われている。

JR・近鉄奈良駅 市内循環バス 大仏殿春日大社前下車 徒歩3分

奈良県新公会堂 TEL：0742-27-2630